

嵯峨野線における信号トラブルの原因と対策について

2023年8月2日、嵯峨野線京都駅構内における信号トラブルにより列車の遅れを発生させた事象について、原因が判明しましたので、対策と合わせてお知らせします。

ご利用のお客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

1 発生日時

2023年8月2日（水）9時13分頃

2 発生場所

嵯峨野線（山陰本線）京都駅 ～ 梅小路京都西駅間

3 概況

9時13分頃、京都駅の駅係員は、信号を制御するシステムにて、梅小路京都西駅から京都駅に入線する信号が赤のままから変わらないのを認めました。このため、嵯峨野線では京都～園部駅間で運転を見合わせていましたが、10時49分に京都駅30番のりば使用のみの運転再開、11時03分に全線運転を再開しました。

※9時40分から、阪急線、京都市営地下鉄にて、振替代行輸送を実施しました。

5 列車影響

<運休>計24本（上下各12本）※部分運休含む

<遅れ>上り快速電車〔園部駅（9：46）発 京都駅（10：21）行〕が83分遅れたのを最大に、計12本（上り7本、下り5本）に83分～5分の遅れ

影響人員：約8,000人

6 原因

ポイントの改良工事における施工に不備があり、列車の通過によってポイントを構成するレール同士のかみ合わせが悪くなり、ポイントの転換ができなくなったためです。

7 対策

同種のポイント工事において、レール同士のかみ合わせが悪くならないような手順を定めて作業を行います。